

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	短期入所事業所運営補助事業			シート番号	011-136
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害者支援
				課	評価責任者(課長名)
					佐野

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	無
	2	事業開始年度	平成 13 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市障害者短期入所事業運営費補助金交付要綱			
	4	関連計画	第4次堺市障害者長期計画、第5期堺市障害福祉計画			
5	事業実施の経緯	障害児や強度行動障害がある障害者、また医療的ケアが必要な障害者については、受入れのための職員体制の確保が必要である。そこで、平成26年度から、それまでの単独型短期入所事業所の円滑な運営の確保に加え、短期入所事業所で受入れが困難な障害者の支援体制確保のための補助体系に改め、事業を実施してきた。平成29年度からは、従来の重度障害者受入加算の補助対象のうち、「障害児」を「重症心身障害」に改め、事業を実施している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市内において、短期入所事業を実施している法人			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	利用者の処遇向上を図り、重症心身障害者等の受入れを促進する。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	①単独型短期入所事業所において、障害福祉サービス事業指定基準に規定する職員配置基準を超えて職員を配置する経費を補助することにより、利用者への支援の充実を図る。 ②重度障害者等(強度行動障害者(児)、重症心身障害者(児)、医療的ケアを必要とする障害者(児))を受け入れた割合に応じて補助金の加算を行い、重度障害者等の受け入れを促進する。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
		社会福祉法人 あすなろ会 ほか				

Ⅲ. 投入量

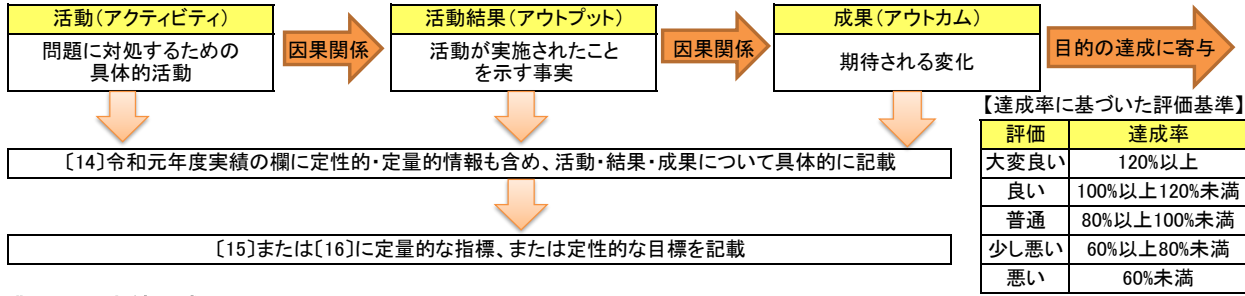
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	34,223	29,993	38,417	29,408	39,584	30,147	33,836	
主な事業費内訳	補助金	千円	34,223	29,993	38,417	29,408	39,584	30,147	33,836
		千円							
		千円							
		千円							
	財源内訳	千円							
	国・府支出金	千円							
受益者負担金(使用料、手数料等)	千円								
市債	千円								
その他()	千円								
一般財源	千円	34,223	29,993	38,417	29,408	39,584	30,147	33,836	
12 人件費 (b)	千円	820	820	820	820	810	810	820	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	35,043	30,813	39,237	30,228	40,394	30,957	34,656	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	短期入所事業所運営補助事業	シート番号	011-136
-------	---------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

令和元年度実績							
活動実績と成果	14	令和元年度は、短期入所事業を実施する社会福祉法人に対し、短期入所事業運営に要する経費の一部について補助を行った。その結果、受入れが困難な重症心身障害者等のケアの機能強化ができ、事業所の支援体制の確保につながった。令和元年度の実績としては、補助金交付事業所数が11か所、重度障害者受入者数(延べ人数)は、11,772人であった。					
	15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	補助金交付事業所数	目標値	—	—	—	—	
		実績値	11	11	11	—	
		達成率	—	—	—	—	
		評価	—	—	—	—	
	算出方法・設定根拠など		令和2年3月末時点の単独型事業所体制加算もしくは重度障害者等受入加算を行った事業所数を実績値としている。				
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	重度障害者等受入者数(延べ人数)	目標値	—	—	—	—	
		実績値	11,142	11,040	11,772	—	
		達成率	—	—	—	—	
		評価	—	—	—	—	
	算出方法・設定根拠など		1月あたりの短期入所利用者受入人数(人)×12ヵ月(利用希望が一定ではないため、目標値の設定はしない。事業所において受入れた利用者の数を実績値として評価する。)				

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	重度障害者等受入者数(延べ人数)	人	11,142	11,040	11,772
	②	上記①にかかる年間経費	千円	30,813	30,228	30,957
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	2,766	2,738	2,630
	備考(算出についての説明等)					
18			区分	単位	平成29年度	平成30年度
	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
備考(算出についての説明等)						

業績の分析

19	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>障害者(児)の日中の過ごし方は多様化しており、補助開始時と比べて様々な受入れ先が増加しているが、重症心身障害者(児)の受入れについては限定されており、課題となっている。</p>	<p>【分析のチェックポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の達成度はどうでしたか。 ○ 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。 ○ 資源投入は適切でしたか。 ○ 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。 ○ 有効性は高いですか。低いですか。 ○ 効率性は向上していますか。 ○ RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。 ○ ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。
----	--	---

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	短期入所事業所運営補助事業	シート番号	011-136
-------	---------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 短期入所事業所が、重度の障害者の受入れをしない方向につながる恐れがあり、重度の障害者を介護する家族の生活維持に悪影響を与える。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 重度の障害者を介護する家族の生活は常にあり、短期入所を利用しながら、生活維持している場合もあるため、休止することは困難である。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 利用希望者から、短期入所の利用ができないとの声があるなかで、補助金を減らすことによって、さらに事業所による受入者数が減少することにつながりかねないため、縮減できない。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 本市からマスクや手指消毒用のエタノールを配布するほか、事業所においても3密の回避や消毒の徹底など、感染防止に向けた取組みを実行している。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 短期入所事業所に対して補助金を交付することにより、事業所が職員を確保し、利用者の処遇向上を図るというように、すでに民間を活用している。 また、他の政令市においても、同様のサービスを実施している。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 重度障害者等への支援を充実する上で、職員の加配は効果的であるため、今後も継続して事業を行うとともに、国に対して職員配置基準の改善を求めている。		